

小児看護学概論	講師：	2 年前期	1 単位（30 時間）
授業の目標 I 小児看護の変遷・現状を学び、小児看護の目的・機能・役割を理解する。 II 小児各期の形態・機能、精神的・社会的特徴を学び、各期に応じた生活援助を理解する。 III 現代の小児の健康問題の動向を総合的に学び、小児の健全な成長発達を支える社会・環境・保健医療福祉制度を理解する。			
授業の内容 <div> <div> 1 小児と看護 (1) 小児看護の変遷 ①小児観の変遷 ②社会変化に伴う小児医療・看護の変遷 (2) 小児看護の概念 ①小児看護の対象 ②小児看護の目標 ③小児看護の特徴 ④小児の人権と看護 (インフォームドアセント) </div> <div> 2 小児の理解 (1) 小児とは ①ライフサイクルからみた小児期 ②発達理論 (2) 成長発達と健康評価 ①形態的成長・機能的発達 ②精神的・社会的発達 (3) 小児と栄養 (4) 小児と生活習慣の獲得 食事、排泄、睡眠、清潔行動 衣服の着脱 (5) 小児と遊び・学習 </div> <div> 3 社会の中の小児 (1) 小児保健の動向 ①小児の衛生統計 ②小児を取り巻く諸問題 (2) 小児の保健医療福祉制度と社会資源 ①児童福祉法、児童虐待防止法 ②児童憲章、児童の権利に関する条約 ③子育て支援施策 (3) 小児保健活動 ①健康診査 ②予防接種 ③学校保健の実際 ④事故防止、安全教育 </div> </div>			
授業方法 講義 評価方法 筆記試験			
テキスト 系統看護学講座 専門分野 小児看護学 (1) 小児看護学概論 小児臨床看護総論 <div>医学書院</div>			

小児看護学方法論 I (小児の健康障害)	講師：	2 年後期	1 単位 (30 時間)
授業の目標 小児に特有な健康障害及び検査・治療を理解する。			
授業の内容 1 染色体異常、胎内環境により発症する先天異常 ・ダウン症候群、ターナー症候群、風疹症候群 2 新生児の疾患 ・低出生体重児、新生児仮死、呼吸窮迫症候群、高ビリルビン血症 3 代謝性疾患 ・先天代謝異常症、1 型糖尿病、周期性嘔吐症 4 内分泌系疾患 ・低身長症、クレチン症、中枢性思春期早発症 5 アレルギー性疾患、膠原病 ・気管支喘息、食物アレルギー、アトピー性皮膚炎 6 感染性疾患 (1) ウィルス感染症 ・麻疹、風疹、流行性耳下腺炎、水痘、ヘルパンギーナ、ポリオ (2) 細菌感染症 ・百日咳、ジフテリア、細菌性髄膜炎、溶血性レンサ球菌感染症 7 呼吸器系疾患 ・風邪症候群、ループ症候群 8 循環器系疾患 ・心室中隔欠損症、ファロー四徴症、川崎病、乳幼児突然死症候群 9 消化器系疾患 ・重積症、肥厚性幽門狭窄症、食道閉鎖、胆道閉鎖、鎖肛 10 血液・造血器系疾患 ・急性白血病、再生不良性貧血、血友病、特発性血小板減少性紫斑病 11 腎泌尿器系疾患、生殖器系疾患 ・ネフローゼ症候群、急性糸球体腎炎、水腎症、膀胱尿管逆流症 12 神経系疾患 ・てんかん、熱性けいれん、脳性麻痺、水頭症、二分脊椎 13 運動器疾患 ・發育性股関節形成不全、骨折			
授業方法 講義 評価方法 筆記試験			
テキスト 系統看護学講座 専門分野 小児看護学 (1) 小児看護学概論 小児臨床看護総論 医学書院 系統看護学講座 専門分野 小児看護学 (2) 小児臨床看護各論 医学書院			

小児看護学方法論Ⅱ (小児の健康障害時の看護)	講師：	2年後期	1単位(30時間)
授業の目標 保健医療チームにおける看護の役割を学び、小児の健康障害に応じた看護を理解する。			
授業の内容			
1 疾病・障害をもつ小児と家族の看護 (1) 疾病・障害が小児と家族に与える影響 (2) 小児の健康問題と看護 2 外来受診や入院を必要とする小児と家族の看護 (1) 外来における看護 ① 外来看護の特徴 ② 外来の機能と看護 ③ 外来の環境 (2) 入院に伴う看護 ① 新生児の入院と看護 ② 乳児の入院と看護 ③ 幼児の入院と看護 ④ 学童の入院と看護 ⑤ 思春期の小児の入院と看護 3 手術を受ける小児と家族の看護 (1) 小児の手術の特徴 (2) 周手術期の看護 (3) 小児の痛みの評価と緩和 (4) プリパレーション 4 健康障害のある小児の生活と看護 (1) 生活制限のある小児と家族の看護 (2) 在宅療養を行う小児と家族の看護 5 心身障害のある小児と家族の看護 (1) 障害の受容 (2) ハビリテーションと看護 (3) 日常生活への支援 6 虐待を受けている子どもと家族への看護 (1) リスク要因と発生予防・早期発見			
(2) 求められるケア 7 さまざまな健康障害がある小児と家族の看護 (1) 急性期にある小児と家族の看護 ① 低出生体重児の看護 ② 消化機能障害のある小児の看護(急性胃腸炎) ③ 循環機能障害のある小児の看護(川崎病、ファロー四徴症) (2) 慢性期にある小児と家族の看護 ① 生体防御機能障害(アレルギー)のある小児の看護(気管支喘息) ② 腎機能障害のある小児の看護(ネフローゼ症候群) ③ 糖代謝障害のある小児の看護(1型糖尿病) (3) 予後不良な小児と家族の看護(急性白血病) ① 化学療法と看護 ② 終末期にある小児の心身の状態と緩和ケア ③ 小児の死を看取る家族への看護 (4) 救急処置が必要な小児と家族の看護 ① 小児の熱傷の特徴・重症度及び処置 ② 溺水と処置 ③ 誤飲と処置 ④ 小児の心肺蘇生			
授業方法 講義 校内実習 小児の心肺蘇生(演示)			
評価方法 筆記試験			
テキスト 系統看護学講座 専門分野 小児看護学(1) 小児看護学概論 小児臨床看護総論 医学書院 系統看護学講座 専門分野 小児看護学(2) 小児臨床看護各論 医学書院			

小児看護学方法論Ⅲ (小児看護技術)	講師：	2年後期	1単位(15時間)
授業の目標 小児看護に必要な技術を習得するとともに、看護過程の展開方法を理解する。			
授業の内容 <div> <div> 1 小児に特有な看護技術 (1) アセスメントに必要な技術 ①子ども、家族とのコミュニケーション ②バイタルサインの測定 ・体温・心拍・脈拍・呼吸・血圧・意識レベル ③身体計測 ・乳児の身長・体重・頭囲・胸囲・腹囲 (2) 生活環境を整える技術 ①ベッド柵の取り扱い (転倒、転落の予防) ②保育器の取り扱い (3) 遊びの援助 </div> <div> (4) 治療・処置に伴う援助技術 ①検査時の援助 採尿、採血 腰椎穿刺、骨髄穿刺 ②与薬時の援助 経口与薬、点滴静脈内注射 ③酸素療法時の援助 酸素吸入 (テント・カニューレ・マスク) ④診察の介助 ・診察・処置時の固定と抑制法 </div> </div> 2 看護過程の展開 (1) 幼少期の発達課題に応じたネフローゼ症候群患児の看護 ・治療や検査による入院生活への影響 ・疾患や入院生活が成長発達に及ぼす影響 ・家族機能、役割の変化 ・疾患、発達段階に応じた援助計画			
授業方法 講義 校内実習 体温・心拍・脈拍・呼吸・血圧測定(モデル人形) 身長・体重・頭囲・胸囲・腹囲測定(モデル人形) ベッド柵の取扱い、保育器の取扱い、採尿(モデル人形) 採血の介助、腰椎穿刺の介助、点滴静脈内注射の介助 診察・処置時の固定と抑制法 演習 看護過程の展開			
評価方法 筆記試験、レポート(ネフローゼ症候群患児の看護)			
テキスト 系統看護学講座 専門分野 小児看護学(1) 小児看護学概論 小児臨床看護総論 医学書院 系統看護学講座 専門分野 小児看護学(2) 小児臨床看護各論 医学書院 写真でわかる小児看護技術アドバンス インターメディカ			